

## 2024 年度ボストン・アカデミックツアー報告書

① 日程：2025 年 3 月 23 日(日)～3 月 31 日(月)、7 泊 9 日

② 場所：アメリカ合衆国 マサチューセッツ州 ボストン

③ 行程：

<b>【Day1】</b>	ボストン大学(BU)を訪問。 午前はスカベンジャーハントを通し、キャンパス内を巡る。 午後はボストン美術館へ。モネやゴッホを始め、有名な作品はガイドさんからの説明を聞きながら 2 時間ほど芸術鑑賞。
<b>【Day2】</b>	BU を訪問。 午前は現地スタッフの指導のもと、チームでマシュマロチャレンジに挑戦。 午後は日本人留学生から話を聞く時間があり、大学生活や就職活動について学ぶ。その後はキャンパスツアー。
<b>【Day3】</b>	午前は BU アカデミー(高等部)を訪問。現地の生徒とアクティビティで交流。 午後は BU に戻り、教授の前で、日本紹介のプレゼン、探究のプレゼンを実施。教授からフィードバックをもらう。
<b>【Day4】</b>	マサチューセッツ工科大学(MIT)を訪問。 午前は建築学の教授の前で、1 人 1 分後程度で『好きな建築物』をプレゼン。その後は教授による建築学の特別講義。 午後はキャンパスツアー、その後、MIT ミュージアムを見学。
<b>【Day5】</b>	ハーバード大学を訪問。 午前は幹細胞についての講義、研究室の見学。 午後はキャンパスツアー、パーソナルエッセイの書き方について教育学の教授による特別講義、図書館の見学。夕食時、日本語を勉強しているハーバードの学生と交流。
<b>【Day6】</b>	自主研修日。各グループ事前に立てた計画にそって、ボストン市内の観光地を巡る。

④ 生徒の声：

- この研修で良かったことは、本当にたくさんの人と出会えたことだ。3 大学の教授や学生はもちろん、研修に参加しなかったら話すこともなかったであろう三田高の先輩方とも仲を深められたことは、とても大きかったと思う。
- 事前研修で得る知見が非常に多い。プレゼンテーション講座だけでも十分一般の生徒に行く価値がある。
- ほんっっとうに楽しかった。もちろんわかんない事もたくさんあって、特に生物の講義とか申し訳ないけど 8 割分からなかったけど、その分自分のリスニングスキルや単語力がいかに低かったのかという再確認に繋がった。これから 3 年生になるという節目の状況の中で、この経験ができて本当に良かった。いちばん大きいのはやはり今後の目標が定まったこと。国内で働くことを考えてたけど、いずれはディズニーワールドで働くことなんかも出来たらなと夢が膨らみました。
- 私は医療系の職業に就きたいと考えているため、ハーバード大学でのラボツアーと医療系の講義は自分の進路に活かせそうだと感じた。特に ips 細胞は、今後医療に携わっていれば必ず関わるものであるだろうから、ips 細胞についての理解をより深めるとともにそれを用いた患者との接し方を考えなければいけないと思った。

- 今回の研修で、アメリカの大学生の自ら進んで学ぶ姿勢を目の当たりにしたので、自分もそのような姿勢を持って日々の学習に取り組んだり、自分が本当にしたいことを考えたりしたいと思う。また、研修を通して、海外進学もなしではないと思ったので、実際に見てきたことをこれからの進路選択に活かしていきたいと思う。英語の面では、教授たちが易しい英語で説明してくれたこともあり、大抵の事は理解出来たけど、やはり自分の英語力の低さを痛感する場面はあったので、これからも英語の勉強を頑張りたい。
- 英語で話して、聞いて、今までになかった脳の使い方をしていて疲れたけど、そんなことも今ではもっと経験したいと思えるくらいの最高の研修でした。
- ポストンの大学の学習環境に触れて、海外の大学に留学できる環境が整っている日本の大学への進学も視野に入れて勉強していきたいと強く思った。ポストンの大学の勉強や研究に対する高い志を感じ、今年ある受験への勉強へのモチベーションとして活かせる。
- 研修を通してさまざまな人と交流したことで考え方に少し変化がありました。それは、自分から積極的に動かないと得られるものも得られなくなってしまうということです。私は普段の授業に手を挙げて発言することや人前で何かを行うことがあまり好きではなく苦手でした。ましてや、私は英語を話すことが得意なわけではないのでコミュ英の授業ではいつも当てられるのが嫌で授業が好きではなかったです。だけど、アカデミックツアーを通してわからないところなど積極的に自分から質問をすること、そして積極的に話しかけに行くことが大切であることを学びました。

## ⑤ 各大学訪問時の様子

### ●ポストン大学●



●マサチューセッツ工科大学●



●ハーバード大学●

